

12月28日

7時30分起床だが、夜中に何回も起きる。頭痛が甚だしい。起座呼吸を何度も行うが治らず。戸外のトイレまでヨロヨロ行く。洗浄用の水なし。「穴」に慎重に「投下」する。「おー、見事！」だが、穴の中では見事にトグロを巻いており、次の人スマン。頭は痛いが快便なのであった。日本人はトイレの「作業」を気にし過ぎだと思う。



8時30分出発、ゴサインクンドにはビスターリで11時着。ヘリが舞い降りてきたので「Your Pizza?」とスペイン人に問うとウケました。このヘリは観光用であった。金持ちネパール人がお茶飲んで、またヘリで帰っていった。ここは標高4,350mのゴサインクンド。ダルバード600Rsなり。頭痛ひどく夕飯はガーリックスープにした。

12月29日

夜中、頭痛甚だしく鎮痛薬服用。6時起床するが微熱がする。体温測ると39度。「うわー、ここへきて最悪のコンディション!」。泣くしかない。王道は「下山」の判断しかないが、峠を越えれば下山・・・スリヤ峰登るけれども・・・とし、這うように食堂に向かう。私は高度に本当に弱い「食欲」だけは失せない。これも「才能」と割り切り、本日の朝食「マカロニ・スープ」（コックのオーダー間違い）を独りモシヤモシヤ食した。



全く歩みが進まない。インナーシャツ+フリース+ダウンで歩く。風がないと猛烈に暑い、風が吹くと猛烈に寒い。1時間30分で峠まで。ここからスリヤ・ピークを目指す。雪が多いと思いきや、全くなし。むしろガラガラでプラブーツでは歩きづらいこと甚だしい。行動食に持参したチベタン・ブレッドが猛烈に固く、顎がぶっ壊れそう。進むほど風が強くなる。道も判然としない。ツルーがいなければ、迷うだろう。今日は悪天の予想はなく、視界は良いが不安になる。12時登頂。次に登りたい山、パルドール峰、ボデ・コシ方面見るが分からず。下山は往路ではなく、反対側に降りる。ヤイタンのバッティは営業なし。フェディまで

降りる。ここまで降りて高所順応完了。頭痛なくなる。ただし、ダルバードの夕食は中止し、ツクパ（チベット麺）のみにする。夜、腹減る。この宿はすき間だらけで、隣のスペイン人の尻が丸見え。布で隠す律儀な日本人。

12月30日

7時起床、8時出発。朝の生卵はいただけない。食べたけれども。ゴブテで昼食。鼻水止まらず、「ルル・ゴールド」服用するが、これを服用するとたいがい具合が悪くなるのだが……。小雨降る。

12月31日

8時出発。朝食はたいがいララ・ヌードル（インスタントラーメン）だが、飽きたのでチベタン・ブレッドにする。ピーナツ・バターを食したがったが、蜂蜜。寒く、固くて塗れない。本日もスリヤ峰は雲の中。私がスリヤ峰を登頂以後ガス雲が多い。この3日間、登頂者はいなかったろうと推測する。歩みが速く、マンゲンゴットまで進む。ここで「ゲッ！」私の嫌いなフランス人3人と同宿。しかも炉辺で3人と会話せざるを得ない状況。仕方なく昔フランスに行った際の「リド・ショウはセクシー！」という、どうでも良い思い出話をする。ちなみに、例のドイツ人親子は「疲れた！」ということで、ここからジープをチャーターしてカトマンズに帰ったのでした。3万円らしい。ここまで車道来ています。

1月1日

ハッピー・ニュー・イヤー！ 8時30分発。チソパニ（冷たい湯）まで歩く。チプリンからの下りはジェットコースターの様。途中、随分と雨が降る。16時チソパニ着。久々にビール3本で乾杯。1本500Rsと高いが美味しい。久々の肉、鶏肉も美味しい。やはり肉が必要。

1月2日

遠くの山は白い。高所では雪が降った様だ。下界は降雨のため視界が良い。空気が澄んでいる。本日はスイス人おばさんに行く。楽しい。スンドリジャル着。ここで昼食。タクシーを呼んでツルー家まで。ニキ（犬）が子犬を産んでいた。

1月3日

ツルー家には泊まらず、近くのホテル（1300Rs）泊。トイレ、シャワー（熱湯しか出ない！）付きで1300Rs。今後、ツルーにガイドを頼むと、ここの宿になるであろう。快適である。

ダマン（Daman）までバイクで遊びに行く。わずか80kmであるが5時間要する。タライ方面から雪を見にインド人が来ていたが雪なし。リゾートらしいが日本の感性には分らず。

1月4日

ダマンからカトマンズへ帰る。腹壊し、夜中3回トイレへ。

1月5日

ツル一家での居候生活が気まずいので、独りモモの夕食。楽しい・・・やはり腹壊す。珍しくこのエリアでの停電。暗闇で何を食わされたのか。

1月6日



何もやることなし。コパン（Copan）のお寺見学。ここは日本人が来ないエリア。ツルー

の弟（4番目）の家見学。この4番目はやり手である。

この日はツル一家の屋上にテントを張り、ビール飲んで、フライトを待つ。ツルーからアチャール（ネパール漬物・辛い）を大量に貰う。重い・・・しかも札幌で開封したならば結構な漏れ。

1月7日

韓国・インチョン（早朝）経由で帰札・・・ああ、寂しい。とりあえず、蕎麦をすする。

以上